

# 吉川日出男 教授 略歴・業績目録

## 略 歴

- 昭和一九年 八月 富山県に生まれる
- 昭和三八年 四月 専修大学法学部入学
- 昭和四二年 三月 専修大学法学部卒業
- 昭和四二年 四月 専修大学大学院法学研究科修士課程入学
- 昭和四四年 三月 専修大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）
- 昭和四四年 四月 専修大学大学院法学研究科博士課程入学
- 昭和四九年 三月 専修大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学
- 昭和四九年 四月 札幌商科大学非常勤講師（民法・外国書購読）（昭和五二年三月）
- 昭和四九年 四月 札幌短期大学非常勤講師（民法・ゼミナル）（昭和五一年九月）
- 昭和五一年 四月 札幌大学兼任講師（民法）（昭和五五年三月まで）
- 昭和五一年一〇月 札幌短期大学助教授（昭和五二年三月まで）
- 昭和五二年 二月 大学設置審にて『札幌商科大学助教授（専任）（民法）』の判定を受ける

- 昭和五二年 四月 札幌商科大学助教（商学部）
- 昭和五五年 四月 北海道大非常勤講師（不法行為法・環境法（平成八年三月まで））
- 昭和五七年 四月 札幌商科大学教授（商学部）
- 昭和五八年 八月 大学設置審にて『札幌商科大学教授（専任）（債権法総論、環境法）』の判定を受く
- 昭和五九年 四月 札幌学院大学教授（法学部）
- 昭和六〇年一〇月 北海道教育大学札幌校（私法学原理）（昭和六一年三月）
- 昭和六二年一〇月 北海道教育大学札幌校（私法学原理）（昭和六三年三月）
- 平成 元年一〇月 北海道教育大学札幌校（私法学原理）（平成一年三月）
- 平成 二年 四月 リヨン大学Ⅲ（国外留学）（平成三年三月まで）
- 平成 三年 四月 札幌大学非常勤講師（民法）（平成八年三月まで）
- 平成 七年 一月 大学設置審にて『札幌学院大学院教授（専任）M合（民法特講）』の判定を受く
- 平成 九年 三月 札幌学院大学理事・評議員（平成一二年三月まで）
- 平成一二年 四月 札幌学院大学院法学研究科長（平成一四年三月まで）
- 平成一四年 四月 札幌学院大学法学部長（平成一六年三月まで）
- 平成一六年 四月 京都大学（国内留学）（平成一七年三月まで）
- 平成一三年 四月 在宅研修（平成二三年九月まで）
- 平成二五年 三月 定年退職
- 平成二五年 四月 札幌学院大学名誉教授

## 学会及び社会における活動

### 所属学会

- 昭和五〇年 四月 日本私法学会会員（現在に至る）  
昭和五五年 三月 日本土地法学会会員（現在に至る）  
昭和六二年 四月 日仏法学会会員（現在に至る）  
平成一六年 四月 日本景観学会会員（現在に至る）

## 主要業績

### 1 著書

- 昭和五三年 四月 『基本判例・現代社会と法』（共著）中央書房  
昭和五八年 四月 『財産法入門』（共著）中央経済社  
昭和五九年 四月 『現代法講義』（共著）中央書房  
平成 二年 五月 『債権総論』（共著）八千代出版

- 平成 四年 三月 『やさしい法学』（共著）成文堂  
平成 五年 三月 『やさしい民法』（共著）成文堂  
平成 一一年 五月 『債権各論』（共著）不磨書房  
平成 一三年 四月 『債権総論』（共著）不磨書房

## 2 主要論文

- 昭和四四年 三月 「生命侵害に於ける損害賠償請求権の相続性の有無」（修士論文）  
昭和四六年 二月 「生命侵害に於ける慰謝料請求権の相続性」（専修大学大学院紀要「経済と法」第二号）  
昭和四八年 一月 「生命侵害に於ける財産上の損害賠償請求権の相続性——とくに、消極損害の相続を中心として——」（専修大学紀要「経済と法」第四号）  
昭和四九年 一二月 「日照権の法的構成をめぐる諸問題——日照問題の法社会学的考察」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第三号  
昭和五〇年 一二月 「マス・コミによる人権侵害と差止請求」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一五号  
昭和五一年 四月 「都市における日照問題」（都市問題第六七巻第四号）  
昭和五二年 三月 「身体障害における近親者の慰謝料請求権の認否」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第二〇号  
昭和五二年 一二月 「自動車事故における過失相殺——幼児の過失相殺」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）

昭和五四年 二月 「日照紛争防止への方向性」『論集』（札幌商科大学）第二三号

昭和五五年 八月 「民法七二二条二項の『被害者』の過失をめぐる諸問題Ⅰ」『論集』（札幌商科大学）第二七号 商

経編

昭和五六年 三月 「『被害者側』の範囲」『論集』（札幌商科大学）第二八号 商経編

昭和五六年 九月 「慰謝料請求権の相続性——特に生命侵害を中心に——」『論集』（札幌商科大学）第二九号 商

経編・人文編合併号

昭和五七年 三月 「民法七二二条二項の『被害者』の過失をめぐる諸問題Ⅱ」『論集』（札幌商科大学）第三一号 商

経編

昭和五七年一月 「過失相殺のとらえ方——自動車事故を中心に——」『札幌商科大学論集』（札幌商科大学）

第三三号 法律編

昭和六一年 三月 「大東水害判決を考える」（『札幌学院大学現代法研究所年報』）一九八五

昭和六二年一〇月 「動物責任論」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第四卷第一号

昭和六三年 三月 「飼犬による事故と民事責任」（『札幌学院大学現代法研究所年報』）一九八七

平成 五年 九月 「騒音被害者の救済」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第一〇卷第一号

平成 八年 三月 「眺望権序説」『民法学と比較法学の諸相Ⅰ——山嶋正男先生・五十嵐清先生・藪重夫先生古稀

記念——』信山社出版

平成 九年 二月 「未成年者の監督義務者の責任」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第一三卷第二号

平成一一年 三月 「いじめによる自殺」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第一五卷第二号

平成一四年 三月 「眺望権の保護」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第一八巻第二号

平成一九年一二月 「不動産売買における説明義務違反——眺望保護の視点から——」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第二四巻第一号

平成二五年 三月 「景観権序説」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第二九巻第二号

### 3 判例研究・解説

昭和五〇年 三月 「居宅の日照通風の妨害につき不法行為による損害賠償の請求が認められた事例」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一四号

昭和五一年 二月 「サンケイ新聞意見広告事件」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一六号

昭和五一年 五月 「責任能力ある未成年者の不法行為と監督義務者の責任」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一七号

昭和五一年一二月 「民法七一一条の類推適用により被害者の夫の妹に慰謝料が認められた事例」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一八号

昭和五三年 三月 「夫の過失を妻の側の過失として斟酌されたとした事例」『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第二二号 商経編

昭和五三年 四月 「日照通風の妨害と不法行為責任の成否」（教材民法判例）北海道大学図書刊行会

昭和五三年 四月 「所有者でない登録名義人と自賠法三条適用の有無」（教材民法判例）北海道大学図書刊行会

昭和五三年 四月 「共同不法行為者各自の責任範囲」(教材民法判例) 北海道大学図書刊行会

昭和五四年 三月 「七才一カ月の男児が溜池へ転落して死亡した事案において、溜池の設置又は保存に瑕疵がないとされた事例」『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第二四号 商経編

昭和五四年一〇月 「眺望権侵害を理由とする建築工事中止の仮処分申請が認められなかった事例」『論集』(札幌商科大学) 第二五号 商経編

科大学) 第二五号 商経編

昭和五五年 三月 「眺望利益の侵害について損害賠償請求が認容された事例」『論集』(札幌商科大学) 第二六号 商経編

経編

昭和五六年一〇月 「受傷後死亡の場合につき、死亡までの間の受傷による慰謝料請求権は特別の事情なき限り相続の対象にはならないとされた事例」『論集』(札幌商科大学) 第三〇号 商経編

の対

昭和五七年一〇月 「区長が弁護士法二三条の二に基づく照会に依じて前科及び犯罪歴を報告したことが過失による公権力の違法な行使に当たるとされた事例」『論集』(札幌商科大学) 第三二号 商経編

る公

昭和五八年 五月 「畜犬の飼主に保管上の過失が認められた事例」『論集』(札幌商科大学) 第三四号 法律編

昭和六〇年 七月 「大東水害事件」『札幌学院法学』(札幌学院大学法学会) 第二卷第一号

昭和六三年 八月 「飼い犬の鳴き声による近隣騒音について、犬の飼い主に民法七一八条の損害賠償が認容された事例」『札幌学院法学』(札幌学院大学法学会) 第五卷第一号

事例」『札幌学院法学』(札幌学院大学法学会) 第五卷第一号

平成 二年 二月 「身体障害につき被害者の心因的要因が寄与している場合に民法七二二条二項が類推適用された事例」『札幌学院法学』(札幌学院大学法学会) 第六卷第一号

た事例」『札幌学院法学』(札幌学院大学法学会) 第六卷第一号

平成二〇年一二月 「景観利益侵害に対する不法行為の成否——国立景観訴訟」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第二五卷第一号

#### 4 紹介・資料など

平成 元年 三月 「ラングドック・ルシヨンの観光・リゾート開発——ヨーロッパ土地問題研究調査団に参加して——」（現代法研究所年報）一九八八

平成 六年 三月 「第九回ナショナル・トラスト全国大会に参加して——日本におけるナショナル・トラストの課題——」（現代法研究所年報）一九九一

昭和六三年 六月 特集 文化は北から 「知床伐採問題を考える」（『札幌学院評論』九号）

平成一三年 一月 特集 いま日本の子どもは 「いじめによる自殺を考える」（『札幌学院評論』二四号）

平成 四年 一月 「大気汚染の現状と課題」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第八卷第二号

平成 五年 三月 「フランスにおける大気汚染状況」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第九卷第二号

平成 八年 三月 「札幌市における近隣騒音苦情の現状と課題」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第一二卷第二号

平成一二年 九月 「都市景観の保護——北海道における都市景観条例・要綱の制定状況を素材にして」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第一七卷第一号

平成一八年 三月 「柵田（景観）の保護」『札幌学院法学』（札幌学院大学法学会）第二二卷第二号